

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成28年2月5日
東

上場会社名 塩水港精糖株式会社 上場取引所
 コード番号 2112 URL <http://www.ensuiko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山下 裕司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理グループ長 (氏名) 酒井 英喜 (TEL) 03-3249-2381
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	20,568	1.1	819	31.0	869	32.0	566	34.8
27年3月期第3四半期	20,346	△3.1	625	△5.0	658	19.7	420	43.5

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 838百万円(92.2%) 27年3月期第3四半期 436百万円(△28.1%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
28年3月期第3四半期	20.91	—	—	—
27年3月期第3四半期	15.66	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	25,092	—	7,587	—	30.2	—
27年3月期	24,824	—	6,885	—	27.7	—

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 7,587百万円 27年3月期 6,885百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
27年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00	—
28年3月期	—	0.00	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	26,000	△1.2	590	3.1	590	1.5	390	22.7	14.39	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	35,000,000株	27年3月期	35,000,000株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	7,890,604株	27年3月期	7,890,584株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	27,109,400株	27年3月期3Q	26,859,926株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善がみられ、緩やかな回復基調が続きました。

一方、砂糖業界におきましては、砂糖消費量の漸減傾向が続き、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは基幹事業である砂糖事業（国内精糖及びその他糖類）並びにバイオ事業における売上高・利益計画の達成に向けて全力で取り組んで参りました結果、当期の業績及びセグメントごとの業績は以下のとおりとなりました。

①砂糖事業

海外原糖市況につきましては、ニューヨーク市場粗糖先物相場（当限、1ポンド当たり）において期初12.00セントで始まりしました。8月下旬にはレアル安によるブラジルの輸出増加観測により7年ぶりの安値となる10.13セントをつけました。その後、主要生産国の生産見通し引き下げやブラジルの生産懸念の影響により12月上旬には15.85セントの高値をつけ、結局15.24セントで当期を終了しました。

国内市中価格（日本経済新聞掲載、上白糖大袋1kg当たり）は、期初185～186円で始まりましたが、粗糖国際相場の下落により10月上旬に183円～184円に値を下げ、同水準のまま当期を終了しました。

国内精糖及び異性化糖などの国内販売は、業務用は大手飲料ユーザー向け販売が好調に推移したものの、家庭用は特売の減少などにより、売上高はほぼ前年並となりました。

以上の結果、当期における砂糖事業全体の売上高は18,802百万円（前年同期比0.2%増）、セグメント利益は1,415百万円（前年同期比9.9%増）となりました。

②バイオ事業

オリゴ糖事業は、主要量販店等への販売促進活動に加え、各種メディアで取り上げられている『腸内フローラ』特集等による好影響を受け、「オリゴのおかげ」の販売数量は好調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

サイクロデキストリン事業は、食品及び非食品への拡販に努めましたが、ビフィズス菌関連製品は比較的堅調であったものの、その他大手ユーザー向け販売が低調に推移したことから、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、当期におけるバイオ事業全体の売上高は1,242百万円（前年同期比19.4%増）、セグメント利益は126百万円（前年同期比37.5%増）となりました。

③不動産賃貸事業

関西製糖株式会社への大阪工場設備の賃貸及びニューE S Rビル事務所の一部賃貸等を行い、所有不動産の活用に努めました結果、不動産賃貸事業の売上高は580百万円（前年同期比3.0%減）、セグメント利益は42百万円（前年同期比14.7%増）となりました。

以上の結果、当期の売上高は20,568百万円（前年同期比1.1%増）、営業利益は819百万円（前年同期比31.0%増）、経常利益は869百万円（前年同期比32.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は566百万円（前年同期比34.8%増）となりました。

研究開発につきましては、抗がん剤を体内で効率的に送達させる「がんミサイル療法」の共同研究を継続し、健康食品・バイオプラスチックの原料となり得る「グルカル酸」の安価な製造法の開発及びビフィズス菌を選択的に増やす「乳糖果糖オリゴ糖」の新機能探索と新製法の開発に取り組みました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて267百万円増加し、25,092百万円となりました。

これは主に、受取手形及び売掛金449百万円の増加、投資有価証券416百万円の増加等によるものであります。

負債合計は前連結会計年度末に比べて434百万円減少し、17,504百万円となりました。

これは主に、有利子負債691百万円の減少等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて702百万円増加し、7,587百万円となりました。

これは主に、その他有価証券評価差額金が300百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成27年5月8日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替を行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,477	861
受取手形及び売掛金	1,640	2,090
商品及び製品	1,107	1,109
仕掛品	293	254
原材料及び貯蔵品	768	898
繰延税金資産	71	88
その他	1,138	1,171
流動資産合計	6,497	6,473
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,752	9,816
減価償却累計額	△5,572	△5,774
建物及び構築物(純額)	4,179	4,041
機械装置及び運搬具	11,212	11,490
減価償却累計額	△9,675	△9,844
機械装置及び運搬具(純額)	1,537	1,645
工具、器具及び備品	431	425
減価償却累計額	△363	△345
工具、器具及び備品(純額)	68	79
土地	5,234	5,234
建設仮勘定	13	17
有形固定資産合計	11,034	11,019
無形固定資産		
ソフトウェア	31	21
その他	6	26
無形固定資産合計	38	47
投資その他の資産		
投資有価証券	5,106	5,522
長期貸付金	1,391	1,448
繰延税金資産	684	510
その他	72	70
投資その他の資産合計	7,254	7,551
固定資産合計	18,327	18,618
資産合計	24,824	25,092

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	633	581
短期借入金	8,780	6,560
1年内返済予定の長期借入金	2,494	2,004
未払法人税等	16	213
未払消費税等	234	268
賞与引当金	80	40
その他	1,056	1,223
流動負債合計	13,295	10,892
固定負債		
長期借入金	3,399	5,418
退職給付に係る負債	927	849
その他	316	343
固定負債合計	4,643	6,611
負債合計	17,938	17,504
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,750	1,750
資本剰余金	241	241
利益剰余金	8,027	8,458
自己株式	△3,021	△3,021
株主資本合計	6,997	7,428
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△187	112
繰延ヘッジ損益	12	△13
退職給付に係る調整累計額	63	59
その他の包括利益累計額合計	△111	159
純資産合計	6,885	7,587
負債純資産合計	24,824	25,092

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	20,346	20,568
売上原価	16,922	16,902
売上総利益	3,423	3,665
販売費及び一般管理費	2,797	2,846
営業利益	625	819
営業外収益		
受取利息	29	27
受取配当金	104	114
その他	11	7
営業外収益合計	145	149
営業外費用		
支払利息	85	75
持分法による投資損失	14	2
支払手数料	4	21
その他	8	0
営業外費用合計	112	99
経常利益	658	869
特別利益		
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	—	0
税金等調整前四半期純利益	658	869
法人税、住民税及び事業税	159	280
法人税等調整額	77	22
法人税等合計	237	302
四半期純利益	420	566
親会社株主に帰属する四半期純利益	420	566

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	420	566
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	313
繰延ヘッジ損益	4	△25
退職給付に係る調整額	△1	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△12
その他の包括利益合計	15	271
四半期包括利益	436	838
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	436	838

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	18,749	1,022	574	20,346	—	20,346
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15	18	24	58	△58	—
計	18,764	1,040	598	20,404	△58	20,346
セグメント利益	1,287	92	37	1,416	△791	625

(注) 1 セグメント利益の調整額△791百万円には、セグメント間取引消去△10百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△780百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	18,788	1,222	556	20,568	—	20,568
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14	19	24	57	△57	—
計	18,802	1,242	580	20,625	△57	20,568
セグメント利益	1,415	126	42	1,585	△765	819

(注) 1 セグメント利益の調整額△765百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△766百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。